


整理番号	HT29205	分野	医歯薬学・その他	キーワード	作業療法
------	---------	----	----------	-------	------

研究機関名	岐阜保健短期大学				
プログラム名	はたらく犬と私にもできるリハビリお助け隊～動物介在療法と補助犬作業療法プログラム～				
先生(代表者)	原 和子(はら かずこ)リハビリテーション 学科作業療法学 専攻・特任教授				
自己紹介	<p>リハビリテーション医療としての作業療法を実践そして教えてきました。作業療法では、アート&サイエンスといわれる学びの中でも、特にアートの力に注目します。元来、絵画や音楽、園芸、動物好きだったので、作業療法の仕事は私にピッタリでした。補助犬との係わりは盲導犬から始まり、介助犬、聴導犬と広がっていきました。動物介在療法としての意味も含めて癒し癒されながらまだまだ学ぶことの多い毎日です。</p>				
開催日時・募集対象	<p>平成 29 年 8 月 6 日 (日)</p> <p>平成 29 年 8 月 7 日 (月)</p>	<p>受講対象者</p> <p>受講対象者</p>	<p>小学 5,6 年生、中学生、高校生</p>	<p>募集人数</p> <p>両日共 20 名</p>	
集合場所・時間	岐阜保健短期大学学生ホール	(集合時間)	10 時		
開催会場	<p>岐阜保健短期大学学生ホール</p> <p>住所: 〒500-8281 岐阜県岐阜市東鶉 2-92</p> <p>アクセスマップ URL: http://www.gifuhoken.ac.jp/access.html</p>				
内 容					
<p>犬はペットとしてだけでなく、昔から狩猟犬、牧羊犬、警察犬など仕事上のパートナーとして人間との繋がりが深い、特別な存在です。人間の生活や仕事に関連する犬の活躍はリハビリテーション医療の分野でも例外ではありません。動物介在療法での犬、動作や作業のお手伝いをする補助犬(盲導犬、聴導犬、介助犬)は、単に役に立つ犬というだけでなく、病人に勇気や希望を与え、障害者に安心、安全、自信を与えます。</p> <p>今回、小学 5, 6 年生、中学生、高校生の皆さんに、こうした補助犬の活躍をご紹介します。補助犬の活躍を理解するには実際に触れてみるのが一番です。当日は、日本聴導犬協会から聴導犬、介助犬、その候補犬(犬の中学生、高校生といったところでしょうか)、中部盲導犬協会から盲導犬が参加します。視覚障害、聴覚障害、肢体不自由の障害体験をしながら、様々な動作を補助犬とともに試みて、障害を乗り越えて、できることが広がる楽しさを実感しましょう。</p> <p>補助犬の役割を実体験しながら、グループで課題を話し合い、まとめて発表します。小学 5, 6 年生、中学生のテーマは「働く犬、ランキング」、高校生のテーマは「働く犬～スマイル・リハビリ」です。人と寄り添い、医療に貢献する犬の役割を体験しながらまとめます。</p>					

